

木地区 宝地公民館だより



文化祭に気高中学校女子の有志が『貝がら節』を踊ってくれました。
息が合っていてとても綺麗で、大好評でした。

公民館活動で地域の絆を

館長 吉田 亨

昨年、三月十一日発生した東日本大震災以来、一年を迎えようとしております。改めて被災された皆様にお見舞い申しあげますと共に、その後、被災された方々、被災地によせられた、国内外からの復興支援の中で、国際社会・地域社会の絆、連帯感の重要性を強く感じさせられております。

さて、平成二十三年度公民館事業は当初の計画どおり実施されております。これも、皆様のご協力によるものと深く感謝申し上げます。

なかでも、公民館活動の学習成果発表の場でもある文化祭は、場所を宝木小学校から勤労者体育館に変えて三年目になり、今年度はイベントも増え、“コミネット宝木”のふれあい市等もあり賑やかに開催することができました。

特に、芸能発表では中学生による貝殻節踊り、兵庫県から「豊岡」のつとり太鼓」に出演

していただき会場を盛り上げていただきました。

また、地域の皆様に協力して作っていただいた舞台は手作りの良さが感じられ、とても好評でした。

作品展示も各集落から出品していただき、すばらしい作品が多く見受けられました。

今後は小学生の芸能発表を学校関係者と話し合いながら検討していきたいと思っております。

子どもからお年寄りまで気軽に参加でき、地域の方々と交流できる楽しい文化祭ができますよう、皆様からのご意見をおまちしております。

公民館行事を通して、地域の方々とふれあい、強い絆を深めていきたいと思います。

地区公民館が生涯学習並びに地域コミュニケーション活動の拠点施設となるよう、公民館職員一同、

努力していきます。



健康ウォーク

山本 京子

平成二十三年文化の日に開催された、「一人ひとりが元気で楽しく暮らせるまち」を目指して行なわれた、水尻池を一周する六・五キロコースの「第六回宝木地区健康ウォーク」へ参加しました。

当日は朝から穏やかな日差しで、メタボ気味の夫をなかなば強引に誘い、集合場所の宝木地区公民館へ行くと顔見知りの方がほとんど。

健康づくり推進員の岡田寿晃さんの指導のもと、三十五人ほどの参加者全員で準備運動をおこなって出発です。

普段スポーツに縁のない生活を送っているため、少し不安はありましたが、思いのほか足取りは軽く、宝木坂を越え、板井神社まで、秋色に染まった木々や野の花に癒され、おしゃべりを楽しみながら歩きました。

一時間ほどで板井神社へ到着。入口の鳥居から参道を歩き、

神門をくぐって境内に入ると

厳かな雰囲気。気がただよい心地よい。本殿下に畳

二枚ほどもあるとされる御神体の青石が見えないのが残念でしたが、本殿の

手の込んだ彫刻に感動。休憩を取った後再び歩き、奥沢見ではコース沿いの庭や、菊花展出品前の見事な作品を観せていただき、大満足で屋前にはゴール

皆でストレッチで体をほぐし解散しました。

翌日に

疲れが残るかも：と心配しました。が、体は軽く、健康に過ごさせて

いただけ。ことに感謝したウォーキングとなりました。



文化講演会

米田 洋

宝木地区文化祭、栗木剛氏による『みんなで考える子育て〜家庭・地域ができること〜』の



講演会に参加して、あらためて家庭・地域での子育てをする大切さを感じた。

現在の子供たちはすべての面において恵まれた環境の中で育っており、私が子供の時代に体験したことが出来ている

のか、考えさせられることとなった。

親の助けが無ければ、通常の生活が出来ない子供がい



ること、その子が大人になって常識的な事が出来なくて、困ることが多く、体験学習を通して、

自分なりに考えて行動し、困らないようにすることが大切である。昔の子供は家庭での生活

地域とのかかわり、学校での生活の中で、現在に比べて自分なりの考え、行動が出来ていたように思う。生活環境の変化により、ゲーム機等の遊びが多くなり、外で活動することが少ないのが原因。大人は子供がその年齢に合った最低限やらなければならぬ事は必ずやらせる。

この事が現在の子供たちにとって成長していく上で重要。家庭、

地域での子供に対する接し方など、いろいろ

な事を考えさせられる講演会でした。



キムチづくり 講習会に参加して

山崎 道子

十一月二十日、本場のキムチを習えるというので滅多にな



いチャ
ンスと
出かけ
ました。
私のつ
けもの
実績は
ゼロ。家
族皆が

好きなのに、いろいろと買って食べれば良いと横着を決めてんでいます。今回、韓国人の先生なので興味深々。思っていた以上に乳酸菌発酵キムチの効能を知り、スリムで美肌の女性が多い秘密の謎が明かされた思いでした。

まず、白菜の下漬けのやり方からびっくり。手で割いた白菜を塩水にくぐらせる事から始まり、いく



りの唐辛子粉と旨味材料の漬けダレに本漬けするまでかけ足で実習後、たくさんキムチを持ち帰りました。白菜の葉っぱ一枚たりとも無駄にせず、いとおしむようにかつ合理的に材料を扱うことを学ばされました。

講習会には、我が常松から五名もの参加があり、地元でキムチづくりしよ

うと盛り上がり上がっていただきます。

本場キムチはやはり唐辛子が舌につらく、少し減らして和風テイストを強くして……なんて話しているところ

です。



男の料理教室に参加して

吉田 和行

「これらは、いわば最高級サロイン。」先生より紹介され



た本日のメイン食材である大量の猪肉との出会いでした。

料理人は宝木地区の男たち。そして東ねる先生は、人呼んでイノシシ先生とのこと。鹿野今市よりの鈴木先生。普段料理してそうな男も、してなさそうな男も鈴木先生のご指導のもと、一糸乱れず？イノシシ料理を楽しみました。

大きな鍋で野菜と肉たっぷりのはたん鍋、カツ、炊き込みご飯の三種の料理指導を受けました。猪肉は食べたことはあったのですが、料理するのは初めての経験です。すべての食材の下ごしらえから、料理、片付け、そして参加者全員での試食まで、男たちが力を合わせた料

理教室でした。猪肉料理と聞く、何かミステリアスな響きで好奇心がわき、臭いのではないかと、この先入観に胸を膨らませ取り組んだ次第です。

鍋用のスライス肉の作成、美しくロール状に巻いた茹で白菜を大皿へ盛り付けるなど一連の作業は、流れるような素早い連携でした。

料理のポイントは、大鍋で時間をかけて煮込む間、延々と続く“アク取り”、また肉の臭みを和らげ美味しく食べるための“合わせ味噌”の作り方であったと頭に刻み込んでおきました。

普段なかなかお会いすることのできない地区の方々との交流、また会話の弾んだ楽しい試食会など、素晴らしい機会を企画頂きました宝木地区公民館の皆様と今市よりの鈴木イノシシ先生に心より御礼申し上げます。





オープンして2ヶ月が経ちました。1月17日（火）は午後2時より宝木の下浜さんが記録した「昔懐かし、ビデオ上映会」が開催されました。おそらく30年程前のものでしょうか、宝木敬老会、夏祭りの様子でした。我が子が、小学校中学年の頃、子ども会が敬老会で楽器演奏を披露している姿に、思わず、「うちの子だ！」。横で、「どれ どれ」と皆々反応し、なぜかハイ

日用品・食料品販売 高齢者の居場所

オアシス宝木



テンション。

婦人会による演出、踊りは現在では考えられないほど多い演目に関心させられました。敬老会招待者を見ては、「あの人が居る、あの人も。」と集まった30名程の観客は楽しく懐かしい顔を見させて頂きました。中には、10年以上前に亡くなったお父さんの姿を見つけた人も。

概ねの参加者が後期高齢者。わずか1時間の上映会でしたが、昔を懐かしみ、心躍る一時となりました。

た。「また、観たいな。」「また、してえな。」と次回を約束した会となりました。

名前のとおり、心潤う場所となりつつあるオアシス宝木と思えた日でした。

H・H



昨年11月19日（日）宝木旧三牧商店あとに店舗兼高齢者サロンができました。買い物難民救済と高齢者が気軽に集える場づくりとして、ボランティアで運営されています。

代表：本部享司 電話 0857-82-2313



陶芸教室



健康講演会



しめ縄作り

後期事業の様子

編集後記
『オアシス』とは、砂漠の中で水が潤う場所。また、安らぎを与えてくれる憩いの場所という意味もあります。公民館も事業をつうじて、地域の皆さんが集う、憩いの場所になればと願っています。下期たより発行にあたり、ご協力いただきました皆様に、編集委員一同、心から感謝申し上げます。



みそ作り



旧正月大会